

1 実践の概要

タイトル	「生徒による危険箇所点検」
概要	<p>生徒それぞれが、『落ちてこない・倒れてこない・移動してこない』のキーワードに該当する建物内外の箇所を確認でき、生徒が自主的に避難経路を考えて行動できる訓練</p> <p>期 日：平成25年5月31日（金）</p> <p>場 所：湯沢市立皆瀬中学校校舎</p> <p>時間帯：授業時間</p> <p>参加者：全校生徒59名・教職員12名</p>

2 実践内容

実践方法と進め方	工夫した点○ 苦勞した点●
<p>1 事前</p> <p>(1) 事前準備</p> <p>(2) 事前学習</p> <p>2 防災学習・避難訓練当日</p> <p>(1) 防災学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習集会 <p>(2) 校舎内探索</p> <p>①キーワードで危険箇所チェック</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全員に右のチェック表を配布し自由に校舎内をチェックする。 ・建造物だけでなく家具や電灯、スピーカーなどもチェックする。 <p>②安全な避難経路の考察</p>	<p>○過去の地震による被害の写真収集</p> <p>○東日本大震災直後に名取市に向いたときの写真の活用</p> <p>○安全避難のキーワード『落ちてこない・倒れてこない・移動してこない』の周知を図った。</p> <p>○プロジェクターを使い、過去の地震の『落ちてきた・倒れてきた・移動してきた』写真を映し、意識付けを図った。</p> <p>○校舎図面を全員に配布し、キーワードから危険が予想される箇所をチェックさせた。</p> <div data-bbox="1225 887 1426 1176" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="715 1178 1426 1675" data-label="Diagram"> <p style="text-align: center;">避難経路チェック表</p> <p style="text-align: center;">避難時のキーワード『落ちてこない・倒れてこない・移動してこない』</p> <p style="text-align: center;">キーワードから、逆に危険箇所をチェックしてみよう！どのように危険なのか？直線記入しよう！</p> </div> <p>○チェック表から安全な避難経路をそれぞれに考えさせた。</p> <div data-bbox="702 1720 1417 2033" data-label="Image"> </div> <p>○安全な場所で身を隠す。</p>
<p>(3) 地震発生(避難訓練開始)</p>	

<p>・全校生徒が校内を探索中に地震発生のアナウンスを入れる。</p> <p>(4) 避難開始</p> <p>(5) 避難対応訓練</p> <p>(6) 集 会</p> <p>(7) 自己評価・感想</p>	<p>○避難経路を設定せず、生徒自らが考えた経路で第一避難場所に移動させた。</p> <p>○職員が数ヶ所ある第一次避難場所で生徒を待ち受け、最終避難場所に誘導した。</p> <p>○学校以外で地震が発生したときに、キーワードに則った行動がとれるように意識付けをした。</p> <p>○キーワードから、建物の中に潜んでいる危険箇所の確認や避難訓練の重要さの再確認ができた。</p> <p style="text-align: center;">(生徒の自己評価表の感想より)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>⑧今日の学習で、気が付かないところも危ないと思いました。私たちの危険は瞬にあらうような気がしました。家でもこのように地震が来れば危険となってしまいます。家でも確認したいです。</p> <p>⑨いつもの避難訓練とは違い、新鮮な感じがしました。</p> <p>⑩前段の防災学習ではいろいろな地震の写真がでてきたりして地震の怖さを改めて知りました。</p> <p>⑪危険な箇所を自分で考えて見つけたり確認したりすることができたのでよかった。</p> <p>⑫楽しい。と表すのは違うかもしれませんが、確認しているときに「ああ、これで未来の私たちに！つながっていくな！」と考えると楽しかったです。</p> <p>⑬真剣に自分の命について深く考え、危ない箇所を見つけることができました。今回の授業は今までとは違ったのですがためになりました。</p> <p>⑭むしろ安全なところの方が少ない気がしました。危険を除去することも大切ですが、一番大切なのは自分の身を自分で守ろうと最善を尽くすことだと思います。</p> </div>
---	--

3 成果と課題

成 果	<ol style="list-style-type: none"> 1 校舎内においてキーワードに対応する箇所を生徒自身にチェックさせることで危険箇所を発見する力の向上につなげることができた。 2 大きなねらいの一つである、他の建物でも同様にチェックしたいという意識が生まれた。 3 いつもの訓練とは避難行動までのアプローチが違ったため生徒は新鮮さを覚えた。 4 前段の防災学習を行うことで地震の怖さを再確認できた。
課 題	<ol style="list-style-type: none"> 1 初めての試みで新鮮さを感じてよかったが、次年度はマンネリ化しないように工夫が必要である。 2 他の建物内にいるときに「どう生かせるか」を考えさせていかなければいけない。 (職場体験や修学旅行の事前学習等) 3 冬期間の囲いがある状態では避難経路が限られてくるので、キーワードに沿った経路には制限が出てしまう。
今後の継続予定	<ol style="list-style-type: none"> 1 生徒の感想や職員からの感想からも、実際に役立つ防災学習と避難訓練だったとの評価が高い。今後も、年に一度はこの避難訓練を行う予定である。 2 校外学習の際にもキーワードを意識したチェックなど、防災教育の視点を入れて実施する。 3 美術の授業で取り扱っている「サイン」(建物の中での誘導サイン等)に関する題材を今後の活動に生かしていきたい。